

よこすか自民党 号外版

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町 1-11-23  
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)  
< 毎週火曜日発行 >



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

## 政策実現で政治の安定へ

### 小泉進次郎常任顧問 県連会長に就任

コロナ禍で痛んだ経済の立て直しや激動化する国際情勢を踏まえて、日本の山積する課題解決を押し進めると共に、日本の主権を守り抜くためには、政治の安定が不可欠です。この号外ではその最前線で活躍している三原じゅん子さんとあさお慶一郎さんを集めています。

三原さんはがんを患ったことをきっかけに、社会保障の充実に尽力。内閣府大臣補佐官として、全世代の安心につながる社会の整備に取り組んでいます。あさおさんは日本興業銀行での勤務経験のほか、米国で経営学修士号（MBA）を取得した経済のプロ。日本経済を立て直す処方箋を描けるのが強みです。

4月に神奈川県連会長に就任してから「2人が5位までに入ればいいんでしょう？」と尋ねられますが、正確には違います。今回は補欠選挙も同時に行う合併選挙のため、任期は4位までの当選者が6年、5位の当選者は3年です。県連の責任者として日本一難易度の高い選挙、そして多くの課題解決に向けて総力を挙げて取り組み、政治の安定につなげる決意です。

よこすか自民党では、国・県・市のネットワークを生かし、市立中学校の完全給食の実施、本町山中道路の無料化、市立初のこども園の整備を実現しました。今後さらなる政策の実現に向けて活動していきます。



三原じゅん子 参議院議員 経歴  
平成22年7月第22回参議院議員通常選挙・全国比例区にて初当選  
平成28年7月第24回参議院議員通常選挙・神奈川県選挙区にて2期目の当選  
厚生労働副大臣、参議院厚生労働委員長、参議院消費者問題に関する特別委員長  
自由民主党女性局長（4期）を歴任



あさお慶一郎 支部長 経歴  
栄光学園高校、東京大学法学部卒業、米スタンフォード大学経営大学院（MBA）修了  
参議院議員 平成10年初当選（34歳）～平成21年まで通算2期11年  
参議院財政金融委員長  
衆議院議員 平成21年当選（45歳）～平成29年まで通算3期8年

『あなたの病名はがんです。残念ながら子供を産むことは諦めてください。』その宣告が私の人生を一変させました。

「生きたい」と心の底から祈り、命の大切さについて必死に考えました。それ程、がんの闘病は壮絶なものでした。この国を、がん患者にとって優しい国にしたい！という思いから政治家を目指しました。

初当選以来12年間、がんサバイバーとして患者目線で様々な病を抱えた方たちの「いのちの為の政策」を生み育ててまいりました。小児・若年世代のがん患者達の妊よう性温存療法により、子供を望む方に希望を持てる事業も全国規模で実現致しました。私には、そうした数々の政策を強化させ見届ける責任があります。

弱気を助け強きを挫く政治家であり続けたい！三原じゅん子にしかできないことに全力を尽くしてまいります。こども達の未来をしっかり守りたい！これが私のこの夏に掛ける思いです。

自由民主党神奈川県参議院選挙区第4支部長 三原じゅん子

横須賀市の皆様、このたび神奈川県参議院選挙区第5支部の支部長を拝命致しましたあさお慶一郎です。

政界に身を置き25年、「誰にでも何度でもチャンスのある社会をつくる」と掲げた志がブレたことはありません。その実現のために特に2つのことに注力します。

現下のウクライナ情勢を見れば、国際社会の現実を踏まえた安全保障政策を我が国において実現することが大切であることは論を待ちません。北朝鮮への送金停止の法改正を実現した安全保障のエキスパートとして働きます。

もうひとつは、経済政策です。コロナで痛んだ日本経済を回復する為にも、しっかりとした安全保障を実現するためにも経済の立て直しが必要です。「明日は今日よりきっと良い」と多くの方が思える社会、チャンスに溢れた日本にするために力を尽くします。どうぞよろしくお願いいたします。

自由民主党神奈川県参議院選挙区第5支部長 あさお慶一郎



## 新型コロナワクチンの状況

いまだ衰えを見せない新型コロナウイルス感染症ですが、3回目のワクチン接種も横須賀市においては順調に進んでおり、神奈川県内でも特に早い市町村の一つとなっています。コロナ対策にはスピード感を持った対応が必要であり、よこすか自民党としても迅速かつ丁寧な対応を心がけてきました。除菌液の不足への対応、市内飲食店等への支援、支援金等情報の迅速な周知などを行いました。

また、米軍基地内従業員のワクチン接種情報の国への登録などは自民党だからこそできたものです。今後もこれまで以上に国との情報交換を行い、市民の安全・安心を守ってまいります。

## 防衛費補助の拡大

施設整備は自民党の小泉進次郎代議士、上地市長の交渉により、これまで、公園や道路などの整備に限定されていた防衛省の基地助成金に、2019年度から子育て支援施設も加えられ、給食センターの建設費38億円の内、22億3,500万円が補助金で賄われました。これは全国初の事業採択となりました。

また、中央こども園は、施設整備費7億5,947万円の内75%にあたる5億6,960万円が防衛費補助として国の助成金を受けました。

## 横須賀市給食センター

市では平成28年度に、中学生全員の完全給食を実施する方針を決定しました。そして、市議会では中学校完全給食実施等検討特別委員会を設置し、平成29年3月に横須賀市給食条例を制定しました。

その後、市の平作小学校跡地に給食センターを建設することが決定し、令和3年9月下旬に給食センターが完成、中学校完全給食が始まりました。

給食センターでは、1日に約10,000食の給食を調理し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま、市立23中学校約9,000人の生徒に完全給食を届けています。

乳・卵アレルギー対応の除去食も提供できるように、安全・安心なおいしい給食で中学生の心と体の成長を応援します。

また、広域災害が発生した場合の市民に対する食事の提供を前提とする体制整備も行っています。



給食センター

## 中央こども園が4月1日に開園しました

市は2015年に公立保育園の再編実施計画を策定しました。

当初は19年度の開所を目指して、旧法務局の跡地を買収する予定と発表されましたが、土地買収単価が高すぎると市の財産評価委員会には了承されませんでした。国からは、さらに長期の定期借地権で提案されましたが、市議会では検討不足として了承されませんでした。その後もポートマーケットの敷地の一部で整備案を提示されましたが、いずれも結論に至りませんでした。

現在の市議会となり、中央こども園計画は抜本的に改訂され、予算を圧縮するため、既存の施設である職員厚生会館のリノベーションで対応する計画を立てました。



中央こども園内部

## すくすくかんの施設

中央こども園（すくすくかん）は、鶴ヶ丘保育園と上町保育園を統合した認定こども園、そして病児・病後児保育センター、待機児童の解消に向けた取り組みとして一時預かり保育室、通園児以外も利用できる相談交流スペース子育て支援センター（愛らんど）、相互援助をつなぐ有償ボランティア、ファミリーサポートセンターを集約し、園児及び保護者の子育てを総合的に支えられる拠点として整備しました。

## 市のこども園計画

久里浜地区に公設の認定こども園の第二弾として、森崎保育園とハイランド保育園を統合した（仮称）南こども園の整備も進めています。今後、保育士の働く環境の整備や教育・保育人材の研修などの取り組みを進め、保育ニーズへの対応を充実させていきたいと考えています。

## 本町山中有料道路無料化へ

本町山中有料道路は、3月20日をもって料金徴収期間が満了となり、3月21日から無料となりました。

これまでよこすか自民党としては、横浜横須賀道路の料金引き下げと併せ、本町山中有料道路の無料化について国や県に対して要望を行ってきました。すでにご承知のように、横浜横須賀道路の料金引き下げについては値下げが行われており、今回、本町山中有料道路についても無料化が実現しました。

今後は横浜横須賀道路の横須賀インターへの取り付け道路として便利になるわけですが、その分、夕入の出口付近の渋滞なども懸念されます。引き続き、交通量の変化などを見据えつつ、利便性の高い道路となるよう要望を行ってまいります。

## ウクライナ侵攻に対する対応

2月24日にロシアがウクライナへ軍事進攻を開始し約2カ月経過しました（4月20日現在）。ウクライナ国民の多くが傷つき、友人家族を失い、戦火を逃れるために家を捨て近隣諸国に避難する国民も多く、その数は国民の1割を超える500万人と報道されています。私たちよこすか自民党市議団としてもこの事態を看過できるものではありません。そこで、よこすか自民党市議団の意志として、ロシアによるウクライナ侵攻を抗議し強く非難する決議を提案し、賛成多数で採決されました。



←3月24日に決議された決議文全文はこちらをご覧ください。

また、私たち自民党は決議をするだけでなく人道支援のための募金活動も併せて行いました。紛争により何百万人もの人々が、水、食料、医療品などすべての生活物資が不足し日々怯えながら生活しています。この方々に対し少しでも援助ができるように街頭募金活動を実施しました。多くの方々のご協力により12万7559円が集まりました。ありがとうございました。

今回お預かりした募金は日本赤十字社を通し、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するために利用されます。



横須賀中央駅前にて

## 2050年の脱炭素社会に向けて

将来にわたって持続可能な社会を作っていくためには、今出来ることを確実にやらなければなりません。

2050年の脱炭素社会に向けて、私たちよこすか自民党は国・県・市で連携してまいります。

そこで、本市が率先して2050年に向けて、「地球を守れ 横須賀ゼロカーボン推進条例」に基づき、市民・事業者・市民団体と協働して取り組める環境作りに対し協力していきます。

まずは、横須賀市が策定した「横須賀市環境基本計画2030」に基づき二酸化炭素の排出削減のため、再生可能エネルギーの導入・活用を進めると同時に、二酸化炭素の吸収源となるグリーンカーボン・ブルーカーボン事業の推進に努めます。

※グリーンカーボン…陸上の植物が光合成を通じて二酸化炭素を吸収し固定する炭素のこと

※ブルーカーボン…海洋に生息する海藻などによる光合成を通じて吸収・補足される炭素のこと



2050アクションプラン

## 自民党員募集！

自民党は国・県・市の議員が一体となって活動しています

☎046-822-5300

詳しくはこちら

